

基準 2－2 教育内容・方法

目的を達成するために適切な教育内容や教育方法が共同して検討され、実施されているか。

〈優れた取組を抽出する視点の例〉

a) 教育内容・教育方法

- 育成する人材像（例えば、東アジアにおけるグローバル人材のニーズ）に期待される知識・スキル・態度等の学習成果に適合した教育内容を形成しており、そのことを自ら体系的に分析している。
- 学生が履修する教育内容について、参加大学の間でカリキュラム構成や科目の情報を共有するとともに、一つのプログラムとして統合的・体系的な構成となるように意図している。
- 国際的な共同を行うことによる教育面での付加価値や国際競争力の向上が明確になっている。
- 海外での企業や公的機関等によるインターンシップ等の、プログラム目的に即した効果的な教育方法がとられている。
- 各国の言語や文化・社会の教育が効果的に行われている。
- 英語での授業の実施等、外国人学生が履修しやすい教育方法の工夫が行われている。
- 学生が移動することに適した教育方法（e-learning の活用や教員が出向いて行う共同指導等）がとられている。

b) 学生受け入れ

- 学生選抜の方法（基準や選抜の体制）を教育プログラムの目的や教育内容を踏まえて、参加大学間で共同して設定し、運用している。
- 参加希望者が適切な人数存在し、参加学生数の双方向性（交流のバランス）が実際に確保されている。
- 実際に受け入れた学生の構成やその学力水準（語学力を含む）が、教育プログラムの目的や教育内容に適合したものとなっている。

〈段階判定の尺度と説明〉

尺度	各段階の説明
課題が残っている	- 各大学内にて開講されているカリキュラム構成や科目の情報が参加大学間で相互に<u>把握されていない</u>。教育内容と期待される学習成果との関係が<u>明確でない</u>。 - 学生募集の方法が<u>明確でない</u>。計画した<u>学生数が確保されておらず</u>、参加大学間で偏りがある。
標準的	- 参加大学間でカリキュラムや科目の<u>情報を常に把握し</u>、学生が履修する内容の<u>調整</u>を行っている。教育内容が期待される学習成果に即して構築されている。国際的な共同教育に<u>適切な教育方法</u>がとられている。 - 計画した<u>学生数が確保</u>されており、プログラムの教育内容を学ぶのに適切な学力水準（語学力を含む）が確保されている。
進展している	- 参加大学間でカリキュラムを<u>共同して検討し</u>、教育プログラムの目的を実現するために適切な教育内容となっている。<u>国際的な共同</u>を伴うことで実現しうる教育が行われている。国際的な共同教育に<u>有効な教育方法</u>が工夫されている。教育内容・方法と学習成果との関係が明確に分析されている。 - 計画した学生数が確保されており、参加学生の<u>選抜方針を調整</u>して各大学で実施している。
優れて進展している	- 参加大学が強みを有する内容を連携させるなどして体系的な教育内容を構築しており、国際的な共同教育によって、<u>国際的にも優れて特徴的なもの</u>となっている。教育内容・方法と期待される学習成果との関係の分析を行い、定期的に見直している - 志願者が量・質ともに高く、学生の選抜を参加大学間で共同して決定した方針・方法によって行っている。